

## (公社) いわき青年会議所 事務局長運営方針

事務局長 草野 雄一

1 旧 5 J C の合併や公益法人格への移行など、我々を取り巻く環境は日々変化しております  
2 すが、いわき市の発展を願う先輩方の想いは、今も変わらず我々に受け継がれております。  
3 これまで受け継がれてきた運動を時代に合わせた形で進化させていくためには、会員が活  
4 発に活動をおこなうためのバックアップ体制を強化することで、会員それぞれが力を発揮  
5 することができる環境を構築し、いわき J C の組織力を高めていかなければなりません。  
6 まずは、いわき J C の活動を維持・継続していくために、各種記録の整備や官庁提出書  
7 類の作成および報告・実施など公益法人格を維持するための業務を適切に遂行するととも  
8 に、総会および諸会議の設営をおこなうことでいわき J C の今後の方向性を決める場を創  
9 出します。そして、本年度の運動がより良い形で展開できる環境を創るために、いわき J  
10 C の会館の管理・運営をおこなうことで各種活動がスムーズにおこなえるよう支援をする  
11 とともに、諸会議を円滑に進行させることで活発に議論を展開できる環境の創出や、委員  
12 会活性化に向けた支援をおこないます。さらに、会員が出向という機会を受け入れやすく  
13 するために、議案書フォームの改良や福島ブロック協議会の事業への参加を促すことで、  
14 出向に触れる機会を増します。また、いわき J C の運動を次世代へつないでいくために、  
15 後任の育成はもちろんのこと、次年度の理事対象者に対して公益法人の理事としての心構  
16 えや知識を身につける機会を創出することで社会貢献活動をおこなう団体としての意識向  
17 上や体制強化を図るとともに、本年度の運動を次年度につなげるための場を創出します。  
18 これまでの歴史の中で培われ、脈々と受け継がれてきた伝統を継承しながらも、時代の  
19 流れに対応した形で組織運営の在り方を模索し、調和させることで進化してきたいわき J  
20 C が、心が通う J C 運動を展開していくことでたくましい「いわき」の創造を実現します。